

長崎大学教育学部附属特別支援学校 学校だより（1月号）

青空いっぱい

発行責任者：校長 田中昭二

長 長所を伸ばそう
 大 大好きなことを見つけよう
 と ともだちとチャレンジしよう
 く くらす力をつけよう
 し しごとをする力をつけよう

3学期が始まりました

1月8日（金）は3学期始業式の予定でしたが、大雪による積雪が予想されたために臨時休校にしました。学校はあたり一面が雪で真っ白になりました。玄関ロータリーに立つ20周年記念の像は、二人で「雪が降っているよ」と指さして楽しそうに声を掛け合っているかのようでした。翌日からの三連休中も大雪が降りましたが、12日（火）には、天候も回復し、始業式を行うことができました。新型コロナウイルス感染拡大のため、まだまだ心配な日々が続きますが、教育活動推進に御理解と御協力をいただきますようお願いいたします。



各部の学習活動の様子

各部主事の先生から、児童生徒の学習の様子を紹介してもらいます。

【小学部 マラソン練習】

寒さが厳しい中、子供たちは毎日坂道を元気に登って登校し、着替えをして、1月はマラソン大会に向けての練習に取り組んでいます。小学部のマラソンは、今年も運動場から玄関ロータリーを周回するコースを2～4周走ります。止まらないで走り続けることを目標にしています。記録や順位を意識して走る子供、毎日ひたむきに走る子供、「きつい」「歩きたい」という自分の気持ちとの戦いをしている子供もいます。タイムが縮まってみんなの前で拍手されたり頑張りシールやトロフィーをもらったりすることで、頑張って走ったことの成就感や達成感を味わっています。マラソン練習を通して、毎日運動する健やかな体に加えて、「精一杯頑張る気持ち」も育てていきたいと思っています。

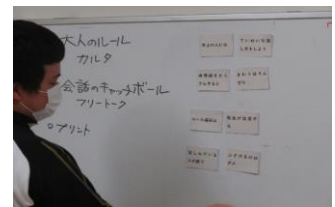


【中学部 自立活動】

「自立活動」では、生徒の生活上又は学習上の難しさを改善し、より楽しく生活や学習ができることを目指して一人一人の課題に応じた学習に取り組んでいます。例えば、目と手を上手に使えるようになるための学習や人の円滑なコミュニケーションの方法を知る学習などです。学習内容の中には難しいものもありますが、生徒たちは頑張って取り組んでいます。最近では（3学期になると）、自立活動の時間に学んだことを自分なりに生かして、生活の様々な面において生徒の成長が見られるようになりました。



「箸で物をつまんで器に移す」



「大人のルールかるた」

【高等部 朝掃除】

高等部では、登校後の8:30から毎日15分間の「朝掃除」に取り組んでいます。全ての生徒が、教室や更衣室、トイレ、玄関、特別教室などに分かれて掃除をしています。必要な道具を適切に使いながら、決められた手順や指示に従って、それぞれの担当場所がきれいになるようにみんなが責任をもって頑張っています。（中には、現場実習で掃除の仕事を経験した生徒もいて、経験を生かしながら取り組む様子も見られます）おかげで校内がきれいに保たれ、毎日気持ちよく学校生活を送ることができています。



挨拶や報告も高校生らしく取り組んでいます。

ありがとうございました

長崎市富士見町にある「大場酒店」様から非接触型体温計を寄贈していただきました。ありがとうございました。